











ひじょいけ  
美女池  
管理者 大日川土地改良区









ひ じょ いけ  
美女池の伝説

ある夏の朝早く、お百姓さんが山へ仏さんにお供えするシキビをとりに行きました。池のほとりにさしかかると、山あいから池の面にかけて白く霧がたちこめ、絵にかいたような美しい朝景色です。あまりの美しさにみとれていると、水の中から美しい女の人があらわれました。これは不思議と、お百姓さんはこぶしで目をこすってみましたが、見まちがいでありません。

「池の中から美女が現れた。」

と、びっくりして山へ行くのをやめて、家にひきかえし近所の人たちに話しました。うわさが広がり、

「よし、わしも池へ行行って美女に会ってやろう。」

と、村の元氣者が二、三人連れだつて池へ行きました。が、ふだんと変わらない池があるだけでした。

その後、だれも美女を見たという者が現れず、日がたつにつれ、いつしかこのうわさも消えてしまいました。

ふたたび、夏がきました。庄屋さんが朝早く供の人をつれてこの池にさしかかると、なまぐさい風が吹いてきて、朝もやが立ち込める池の面に、美しい女の人が

が立っているではありませんか。庄屋さんは、「去年うわさのあった美女とは、まさしくこのことだな。」と、すぐさま引き返して、村の人びとに話しました。

いままで信用していなかった人たちも、今度は二人が見たということや、庄屋さんの話だということですから信用しました。そんなことがあって、だれ言うともなくこの池のことを、美女の出る池、美女池とよぶようになりました。ある法師さんがこんなことをいっていました。「大蛇は川に百年、池に百年、海に百年の修行をつんで天に昇る力を得る。ちょうど潮崎から来た大蛇は池で修行中、たいくつしのぎに人々をびっくりさせたのだらう。」

今では埋って分からなくなっていますが、美女池には奥深い洞くつがあったということです。また、阿方の潮崎にも蛇穴といわれる洞くつがあったそうです。昔のひとは、潮崎から美女池まで穴が通じていたと思っていました。



引用：美女池「発行 南淡町教育委員会」





天目川五地鏡裏  
美女池揚水機塔

September 2007

